

研究課題名：急性 A 型大動脈解離における大動脈石灰化病変との関連性の検討

所属(診療科)：心臓血管外科

研究責任者(職名)：田島 泰 (医師)

研究期間：2020 年 1 月 1 日～2032 年 12 月 31 日

研究目的と意義：病理学的に大動脈石灰が大動脈壁の内膜および中膜に存在します。また、大動脈壁の中膜レベルの解離により急性大動脈解離が起こります。我々は急性 A 型大動脈解離症例において大動脈石灰の量は、大動脈解離の進展と手術結果に影響を与える可能性があることを仮定しました。本研究では、当院で人工血管置換術を施行した急性 A 型大動脈解離症例において Agaston スコアを使用して大動脈の石灰量を評価し、大動脈の石灰化と大動脈解離の進展または外科的転帰との関連を調査します。

研究内容：

- 対象となる患者さん 2009 年 1 月から 2019 年 12 月までで急性大動脈解離に対して当院で人工血管術を施行した患者さんが対象です。
- 利用する情報/資料 年齢、性別、既往症、臨床症状、血液検査結果、画像情報、手術結果、治療方法、治療後の転帰・予後など。
- 研究方法：本研究は 2009 年 1 月から 2019 年 12 月までの当院心臓血管外科で経験した急性 A 型大動脈解離症例 103 症例を検討します。その中で術前に単純 CT を施行していない 18 症例は除き 85 症例において大動脈石灰量、石灰面積、Agaston スコアなどを解析し、Agaston スコアと上行大動脈または下行大動脈の直径、真腔や偽腔面積などの相関を調査します。また Agaston score の中央値をもとに、Agaston score が中央値以上を high score group、中央値未満を low score group とし、術前併存疾患、手術結果、合併症、短期・長期生存率、術後外科的介入などを比較検討します。

問い合わせ先：【研究担当者】

氏名：田島 泰

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630

FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)